

歯を大切に むし歯ゼロの子大集合

7月に行われた3歳児健診で、むし歯がなかった子どもたちを紹介します



松沢 優李くん
(広戸)



吉田 滉太くん
(轟木)



佐藤 空輝くん
(岩崎下)



中川 凜人くん
(広戸)

むし歯予防の豆知識



<子どもの歯みがき中の“のど突き事故”に注意！>

歯みがきは大切な生活習慣ですが、子どもが歯ブラシをくわえたまま転倒し、のどを突くなどの事故が発生しています。特に1歳から3歳の事故が多くなっています。

子どもを事故から守るために

- 歯みがき中は保護者がそばで見守り、必ず座らせて歯みがきさせましょう。
- ※ソファや椅子など、不安定な場所で歯みがきはさせない。
- 子どもが歩く場所にクッションやコードなどの物を置かない。
- 子ども用の歯ブラシは、のどに突き刺さりにくい歯ブラシや、のどの奥に入りにくい歯ブラシを選びましょう。

(公益社団法人 日本歯科衛生士会「歯科保健指導カード」から抜粋)

恒久の平和を祈念

8/17



戦没者へ献花する参加者

町出身の戦没者を追悼し、恒久の平和を祈念する深浦町平和祈念祭が、町民文化ホールで行われました。

式典には、関係者や遺族の方々など約60人が出席。君が代斉唱後、戦没者への黙祷が捧げられました。

その後、吉田町長が「戦争の悲惨さと平和の尊さを風化させることなく未来へと語り継ぎ、希望に満ち心豊かな社会を永遠に築いていくことが私たちに課せられた使命である」と、追悼の言葉を述べました。

参列者は一人ひとり哀悼の意を込めて献花をし、戦争のない平和な社会を祈りました。

海外の方へ十二湖の魅力を伝えます

8/17

青森南高校の外国語科と普通科の生徒12人が、十二湖で海外の方向けに英語でガイドを行いました。生徒たちは今年6月に十二湖森の会と一緒に十二湖をめぐる、その際に聞いた内容を基に自分たちで資料を作成し、今回、実際にガイドをしました。

深浦町出身の山崎詠弓さんは「6月からメンバーを集めて準備して、今日初めてガイドをして外国の方に楽しんでもらったのが嬉しかった。3年生は今年で終わりだけど、これからも後輩たちに今回の資料を元に活発に活動してほしい」と感想を述べました。

今回の資料はアオーネ白神十二湖へ提供され、活用される予定です。



十二湖のガイドをする生徒たち



風合瀬海岸をきれいに!

8/30

風合瀬地区の海岸でビーチクリーン活動が行われました。この活動は3年前から有志で行われてきました。きっかけは「JoySpo! ふかうら」と「風合瀬海岸かおりの店」が開催しているビーチヨガ終了後、キャンプのごみや海岸の漂着物が気になり、始めたそうです。

今までは仲間内で活動していましたが、今回からJoySpo! ふかうらが告知などに協力して開催され、15人が参加しました。かおりの店の坂崎香織さんは「また来年も開催するので集まってくれと嬉しい。ごみは落ちていないほうがいいけど、どうしても落ちているので、この活動を続けてきれいな深浦にしたい」と語りました。



海岸のごみを拾う参加者たち